

自然エネルギー 100%の社会を 目指して

～実現への課題と解決策を探る～

参加費
無料



共催：CAN-Japan
徳島地域エネルギー
後援：徳島県
事務局：WWFジャパン

気候変動問題から自然エネルギーの最新の取り組みまで幅広く学べるチャンス！

定員
75名

Program

- ・「気候変動問題と自然エネルギー普及の重要性」
－ 市川 大悟 (WWFジャパン) －
- ・「地域が主導する自然エネルギー100%社会へ」
－ 古屋 将太 氏 (環境エネルギー政策研究所) －
- ・「海の恵みを生かした海洋再生可能エネルギー」
－ 弥栄 五島 氏
－ 北川 数幸 氏 (長崎県五島市) －

2/16 (土) 13:30～15:30

会場 | アスティとくしま 第3会議室

要事前申込

東日本大震災以降、太陽光発電や風力発電などへの関心の高まりから、今日まで、自然エネルギーの普及が大きく進んできました。他方、近年では、開発による地域の社会・自然環境への変化を心配する声も聞かれ始めています。

今後も、持続可能な形で自然エネルギーの導入を進めていくためには、従来の普及にともなう課題を克服する、地域が納得できるような、新たな取り組みが求められています。

本セミナーでは、3名の講師により、自然エネルギー普及に向けた3つのアイデアを学びます。

- 1) 気候変動問題への影響から、自然エネルギー普及の重要性を学ぶ
- 2) 自然エネルギーの普及の現状と、地域での合意の在り方を学ぶ
- 3) 長崎県五島市の事例から、浮体式洋上風力と潮流発電の地域での取り組みを学ぶ

13:00～ 開場

13:30～ 開会

13:30～

気候変動問題と自然エネルギー普及の重要性

(市川 大悟: WWFジャパン 気候変動・エネルギーGr オフィサー)



愛知県出身。東京農工大学農学部地域生態システム学科を卒業。エネルギー分野でのプラント設計のエンジニアを経て、2012年から現職。現在までに、自治体の協議会でコーディネーターなどを務め、地域環境と調和した再生エネの導入を図る“ゾーニング(適地評価)”の普及に携わる。



14:00～

地域が主導する自然エネルギー100%社会へ

(古屋 将太: 環境エネルギー政策研究所 研究員)



静岡県生まれ。認定NPO法人環境エネルギー政策研究所(IEP)研究員。デンマーク・オールボー大学大学院にて博士号取得(Community Energy Planning)。地域参加型自然エネルギーにおける政策形成・事業開発・合意形成支援に取り組む。著書に『コミュニティ発電所』(ポプラ新書)。



海の恵みを生かした海洋再生可能エネルギー - 弥栄 五島 -

(北川 数幸: 長崎県五島市 再生可能エネルギー推進室長)

14:30～



平成4年に市役所入庁し現在、再生可能エネルギー推進室長。五島市では少子高齢化・人口減少が急速に進み、ふるさと五島の消滅の危機に直面している。地域の資源を活用した「世界遺産」、「椿」、「マグロ」、「海洋再生可能エネルギー」を市の4大プロジェクトとして、交流人口の拡大、雇用・関連産業の創出に取り組んでいる。四方を海に囲まれた五島の風や潮の流れも地域の貴重な資源であり、その資源を活用した海洋再生可能エネルギーの推進によって、新たな環境・エネルギー社会の構築を目指している。



15:10～ 質疑応答

15:30 閉会

事前申し込み先 (無料)

参加希望の方は、氏名、連絡先(TEL)にくわえ、件名に“徳島イベント申込”と記載の上、FAXかメールでご連絡ください。

- ・FAX: 03-3769-1717
- ・メール: climatechange@wwf.or.jp

(※) 御記入いただいた個人情報は、定員超過のお知らせ・参加者人数の把握・今後関連するお知らせをお送りするためにのみ使用いたします。

会場案内

アスティとくしま
第3会議室

〒770-8055
徳島県徳島市
山城町東浜傍
1番地1



お問合せ: WWFジャパン(世界自然保護基金ジャパン)
TEL: 03-3769-3509 担当:市川

本企画は、平成30年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。

